

## 強固な集落作りに向け、ゾーニングで農地集積！ (亀岡市曾我部町犬飼)

国営のほ場整備が進められている亀岡市曾我部町犬飼地区は、基盤整備後の集落営農を新体制に刷新して取り組もうと奮闘中である。犬飼地区の推進協議会は、5年後・10年後を見据え、新たな集落営農の体制構築に挑んでいる。具体的には地域内を3つにゾーニング(従前農業者・新規参入者・法人)するイメージで、農地の維持管理と集落営農の発展と確立を目指している。法人の参加については当機構へ借受希望者の照会があり、これを受け機構は、借受希望法人の営農計画や現在の営農状況を提示している。法人の参入の要請は、営農継続が見込まれ、将来的に地域の中核的担い手として期待するものであり、法人各社も規模拡大のため、好条件のほ場確保に積極姿勢であり、地域への貢献・協力は惜しまないとしている。地元の実務担当責任者も、新たな試みとして新体制の確立に意欲を燃やしている。

従来にはなかった集落営農の形態として、大きな期待が寄せられている。

### 新集落営農の姿はこうなる・・・！

#### <ポイント>

- ①将来像を踏まえた地域内での話し合いで合意形成を図った。
- ②地区の農用地をほ場整備後に、概ね3つのゾーンとなるように換地段階から調整。
- ③機構と各ゾーンの詳細打合せと、最終面積の調整。
- ④機構から適時に借受希望法人へ状況の推移を説明。
- ⑤中間管理事業内容の理解を深める活動。



### 農地あれこれ こぼれ話

#### 農地が守られ、保全維持に喜びの声！

中間管理機構を通しての農地貸借は、ややこしいとお考えの方が多いようですが…。体調を崩し、どうしても営農継続が厳しくなった方が、中間管理事業を活用して信頼できる企業に農地を託せたと安堵されています。借り受けた企業も機構の対応にご納得の様子。これも企業の何気ない一言の相談が契機となって、実を結びました。行き先未定の農地を抱え、ちょっとお悩みの貴方、今すぐ中間管理機構へご連絡を！安心して託せる担い手との出会いが待っているかも知れませんよ。

# ◎機構集積協力金(地域集積協力金)の交付基準が確定

今年度、機構集積協力金の交付基準が一新されました。

地域集積協力金、特に(集積・集約化タイプ)は今年度多くの活用が見込まれますので、具体例とともに、交付基準を説明します。

## ①新しくなった交付基準はこちら

### 地域集積協力金(集積・集約化タイプ)

	機構の活用率		交付単価
	一般地域	中山間地域	
区分1	20%超40%以下	4%超15%以下	1.0万円/10a
区分2	40%超70%以下	15%超30%以下	1.6万円/10a
区分3	70%超	30%超50%以下	2.2万円/10a
区分4		50%超	2.8万円/10a

令和元年度から「**実質化**」された京力農場プランが策定された地域で、地域内のまとまった農地が、**当該年度2月末日までに農地中間管理機構に貸し付けられていること**が交付の要件となっています。

#### □機構の活用率

$$\frac{\text{当該年度の貸付面積}}{\text{地域の農地面積}} = \text{機構の活用率}$$

(前年度までの貸付面積除く)

要件① 1割以上が新たに担い手に集積されること。

要件② 機構への貸付期間が6年以上であること。

※令和元・2年度は京力農場プランの実質化に向けた工程表が作成されていれば交付要件を満たします。

## ②活用の具体例

### (1) A地区の現状

A地区は一般地域で**地区内の農地面積30ha**、昨年度までに京力農場プランに基づき地域の中核担い手Bに**合計5haの農地を集積**。

### (2) 令和元年度に京力農場プランの実質化のための工程表を作成

中核担い手Bが規模拡大を希望、**京力農場プランの実質化のための工程表を作成**し、中核担い手Bに**10haの農地を貸し付けた**とき。

### (3) 上記の場合、地域集積協力金の交付額

$$\frac{\text{当該年度の貸付面積 (10 ha)}}{\text{地域の農地面積 (30 ha) - (前年度までの貸付面積除く (5 ha))}} = \text{機構の活用率 (40\%)}$$

機構活用率40%の場合**交付単価は1.6万円/10a(区分2・一般地域)**、今年度の貸付は**10ha**なので、地域への**交付額は160万円**となります。

## ◆イベントガイド◆

開催日	催事名	会場	お問い合わせ
令和元年 6月10日(月)	農地農政相談	福知山市内複数会場	福知山市農業委員会事務局
令和元年 6月20日(木)	山城地域就農相談	京都府木津総合庁舎	山城北農業改良普及センター (TEL:0774-62-8686) 山城南農業改良普及センター (TEL:0774-72-0237)
<p>◆事前に予約が必要です(相談日の7日前までにご予約下さい)</p> <p>◆ある程度の就農準備ができています方を相談対象として想定しています。</p> <p>◆就農準備がどの程度できているかにより、他の相談機関を紹介する場合がありますので御了承ください。</p>			

※京都府農地中間管理機構では、「FarmBankNews」を(一社)京都府農業会議のHPに掲載しています。

(一社)京都府農業会議(農地中間管理機構)の**ホームページからメールアドレスの登録ができます**。どなたでもご登録いただけますので、農地中間管理事業に興味のある方、また活用をお考えの方はお気軽にご登録ください。

ホームページ URL はこちら <https://www.agr-k.or.jp/~kyoto-j/farbank/>